



COOL JAPAN FOREST



所沢市



KADOKAWA

“COOL JAPAN ” の拠点として “行動する文化” を、世界に発信します。

2人のジェネラルプロデューサー



人と自然の絆を紡ぐ
世界初の文化モールを目指して

所沢市長

藤本 正人

MASATO FUJIMOTO



「COOL JAPAN FOREST」は
私たちの新しい挑戦です

株式会社 KADOKAWA

取締役会長

角川 歴彦

TSUGUHIKO KADOKAWA



創業 70 年を迎えた株式会社 KADOKAWA が、クールジャパンの先頭を行く文化の発信拠点、エポックメイキングな人と自然と文化が調和した街づくりを目指す事業を所沢で展開しようとしています。

本構想が実現すれば、本市全域にわたる魅力向上、経済活性化につながるだけでなく、広く海外へのつながりも期待されるところです。

所沢市は、諸手を挙げて歓迎するとともに、パートナーとしてその実現のために、市としてできる限りの努力をして参ります。

11,000 坪の広大な武蔵野台地の土地に立ちますと富士山をはじめ関東平野を形づくる山々が眺望できます。皆さんにぜひこの感動を一回は経験していただきたい。

角川が築いてきた 70 年の出版事業、映画事業、サブカルチャーを核とした多様なコンテンツ。これをこの地に結集していきたいと思いました。

図書館、美術館、博物館、三大文化施設をここに展開して、文化施設がどれだけ東京に、またインバウンドに力を与えることができるか挑戦してみたいと思っています。

クール ジャパン フォレスト

COOL JAPAN FOREST 構想は、所沢市と株式会社 KADOKAWA (以下、KADOKAWA) の共同プロジェクトであり、みどり・文化・産業が調和した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める構想です。

KADOKAWA が建設する拠点施設「ところざわサクラタウン」を中心とした、半径約 500m 圏内の重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」において、双方が協力して文化事業や企業誘致、統一的な空間演出を行うなど、産官共同で事業を展開していくものです。

みどり

東所沢公園や東川沿いの桜など、みどり豊かな街並みの中に、人々が自由に往来できる開放された「憩いの場」。初めて訪れる人も、そこで生活する人も、家族や友人とのときを過ごし、あるいはひとり気ままな散策を楽しめる場に。

文化

ふるさと所沢の「文化」と、出版界で長い歴史を積み重ねてきた、KADOKAWAが発信する「文化」。成熟した伝統の「文化」、躍進する新たな「文化」を発信します。

みどり・文化・産業が調和した地域づくり

産業

「ところざわサクラタウン」を中心に「COOL JAPAN FOREST」エリア内にコンテンツ産業、IT産業など先端産業に特化した「産業」振興エリアを創出。積極的な企業誘致を進めます。



COOL JAPAN FOREST

新しい地方創生を体現

～企業と行政の相互作用で地域活性化を～

企業の経営ノウハウと、行政の地域マネジメントとの効果的な相互作用で、新たな人の流れを生み出します。企業と行政が企画段階から共同で取り組む先駆性の高い新たな地方創生を体現します。

所沢からCOOL JAPANを発信

～海外観光客を呼び込みます～

所沢市には数多くの文化遺産や、歴史的な農の伝統、さともや狭山茶を始めとする地元農産物、ひな人形や押絵羽子板等の伝統工芸、狭山丘陵や狭山湖といった「みどり」などの地域資源が存在します。アニメ・書籍などのKADOKAWAのコンテンツ分野に加え、COOL JAPANの視点でパッケージ化し、KADOKAWAの情報発信力を発揮して世界に発信します。

住んでみたい・訪れてみたいまち ～「住み続けたい・再び訪れたいまち」に～

「ところざわサクラタウン」から広がる「みどり・文化・産業が調和したまち」の姿が、「水とみどりがつくるネットワーク」を通じて、市全体、周辺地域に広がっていきます。「ところざわサクラタウン」内に地域住民のニーズに即した機能を付加。エリア全体の魅力を高めることで観光客の増加など所沢市全体の元気に繋がっていきます。

どの時期にどんなことをするの？

将来的な「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目指し、下記の3つのマイルストーンを設定し、それぞれの時期に応じた取組を実施することで、効果的に推進していきます。

マイルストーン	2016年～	2020年～	2026年以降
	基盤整備期	成果創出期	未来への飛翔期
	「ところざわサクラタウン」完成までの期間	「ところざわサクラタウン」完成後	
 所沢市	<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の道路整備 東所沢駅からの歩道整備 バス路線等の交通環境整備 	 <p>(ところざわサクラタウン 前面道路)</p>	
	 <p>(東所沢公園)</p>	 <p>※転載禁止 (《仮称》所沢市観光情報・物産館完成イメージ)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 海外観光客の受入体制整備 Wi-Fi エリア設置 「ところざわサクラタウン」とその周辺の一体的な空間演出 		<h2>みどり・文化・産業が調和したまちの実現</h2>
	<ul style="list-style-type: none"> 地元商店、地元企業との連携 地域資源を活用したイベント、エリア一体型のイベント等の実施 産業エリア創出による産業振興 地元農産物 PR による地産地消促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「所沢 COOL JAPAN FOREST 構想 5 大方針」の実現 ①文化コンプレックス ②ジャパンパビリオン ③エンターテイメント ④ベンチャー育成・教育 ⑤農産物 	<p>基盤整備期から進めてきた環境、文化・教育、産業、観光の取組について、分野横断的な連携の可能性を検討し、相乗効果を生み出していきます。</p>
	 <p>(狭山茶)</p>	 <p>©KENGO KUMA & ASSOCIATES ©KAJIMA CORPORATION (完成予定図 ※2018年11月現在)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 「ところざわサクラタウン」建設 「ところざわサクラタウン」外周整備 集客のための交通計画 「ところざわサクラタウン」内各事業の企画開発 		

COOL JAPAN FOREST 構想のエリア

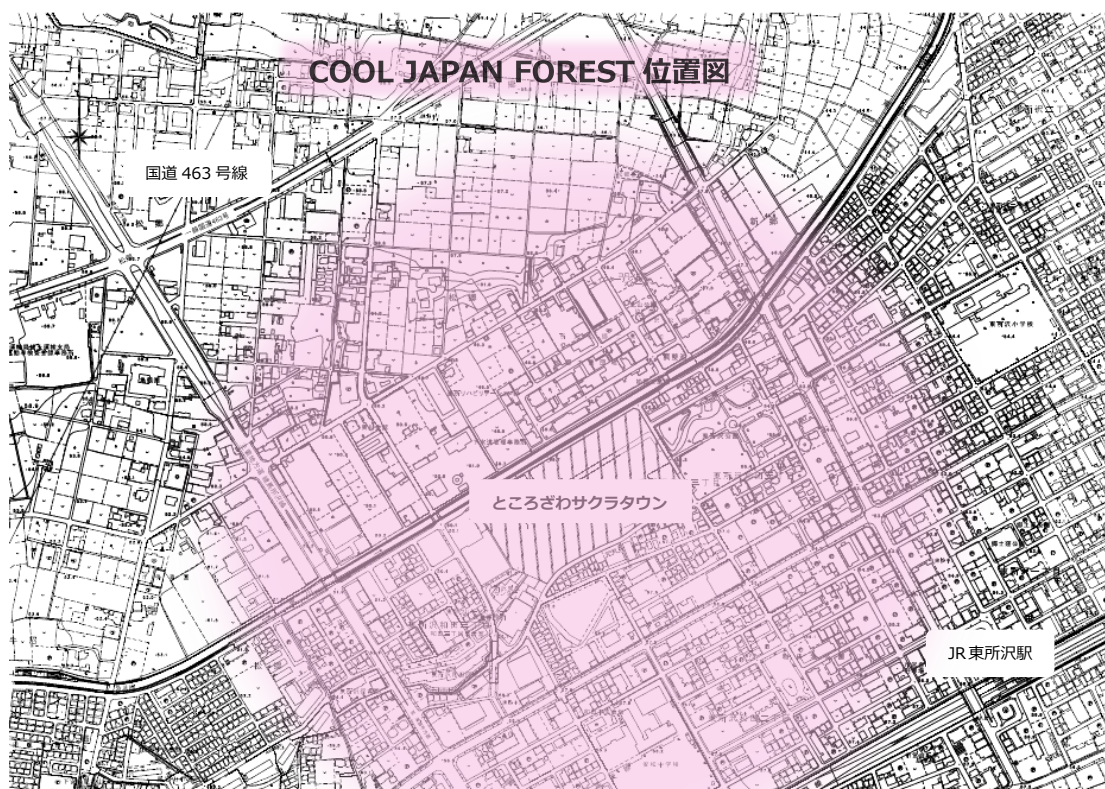
(1) 拠点施設「ところざわサクラタウン」

KADOKAWA が建設する「ところざわサクラタウン」を、本構想の拠点施設とします。



(2) 重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」

拠点施設を中心とした半径約 500m圏内を、重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」として位置づけ、「みどり・文化・産業が調和した地域づくり」を進めるための設備整備や、地域ブランド向上の取組を進めます。



また、構想の推進を図ることにより、地域経済活性化及びブランド力向上等の効果波及を目指す範囲を「市域全体」とし、それにより周辺自治体等に及ぶ広域的な魅力向上に寄与するものとする。



重点推進エリア

エリアイメージ

COOL JAPAN FOREST

憩いの場、人が暮らす場、仕事をする場が
ひとつのエリアに

※イメージ図のため実際の道路や公園等の配置とは異なります。

周辺道路整備

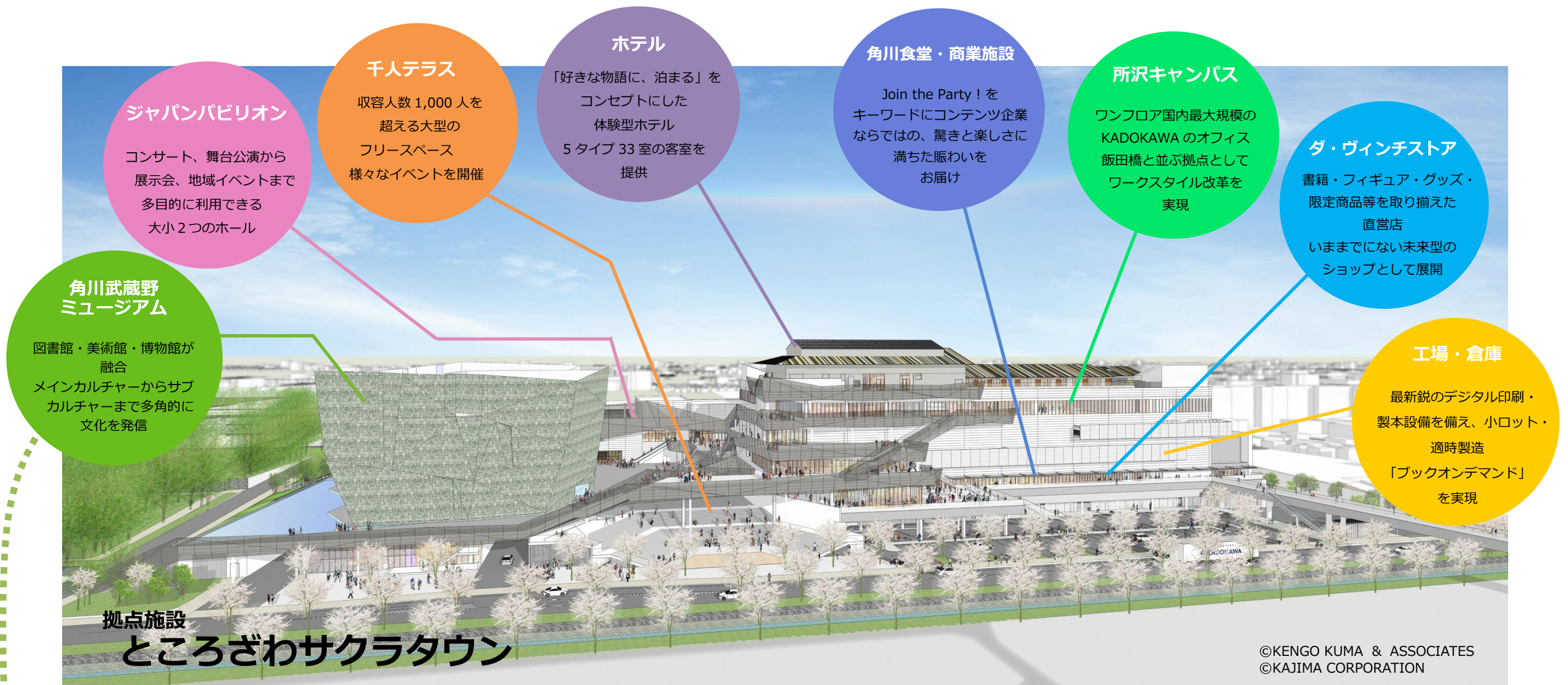
県道 24 号線から「ところざわサクラタウン」へ入る市道 2-572 号線の道路拡幅を行い、歩行者の安全確保のため、歩道を整備します。



東川沿い・東所沢公園

訪れる人々の憩いの場としての景観を確保し、ところざわサクラタウンとの空間的なつながりを演出します。





「ところざわサクラタウン」は、株式会社 KADOKAWA が建設・運営する施設です。公共貢献機能を備えた、COOL JAPAN FOREST 構想の拠点施設に位置づけています。

※施設名称は仮称を含みます。今後変更の可能性がございます事をご了承ください。

5 F	図書館、ギャラリー、ブックラウンジ
4 F	図書館・博物館、ギャラリー、視聴覚室、ワークショップ室
3 F	アニメミュージアム (アニメミュージアムショップ含む)
2 F	エントランスロビー
1 F	企画展示室、マンガ・ラノベ図書館



2018年2月 建築工事着工
2020年4月 竣工
竣工後、順次オープン予定

角川武蔵野ミュージアム

松岡正剛、荒俣宏氏ら監修の図書館・美術館・博物館が融合した、他に類を見ない文化複合施設です。
外壁を岩盤で覆う巨大な岩のようなデザインは、隈研吾氏の設計で、ところざわサクラタウンのランドマークとなります。
ミュージアムの運営は角川文化振興財団が主として行います。



(仮称) 所沢市観光情報・物産館を整備します

ところざわサクラタウンの東川を挟んで反対側にある旧コンポストセンター跡地（市有地）を活用し、所沢市の魅力を発信する拠点とします。

2020年完成予定



※このイメージ図は、あくまで施設のイメージとして作成されたもので、今後の設計の中で変更となる場合があります。また、施設周辺の状況については、実際と異なる点があります。

マルチ棟 500~700㎡ 1階建

- ・魅力発信機能：特産品販売、観光情報発信
- ・地域コミュニティ機能：コミュニティスペース、防災備蓄、公衆トイレ

駐車場

- ・観光バス 7台程度
- ・公共駐車場 150台程度

イベント広場：600~800㎡

- ・特設テントやキッチンカーを配置
- ・ところざわサクラタウンとの共同開催も可能な屋外空間

連絡歩道橋（ブリッジ）

- ・歩行者専用のブリッジで、ところざわサクラタウンとの往来の安全を確保します。



COOL JAPAN FOREST 構想の経緯

所沢市の背景

役割を終えていた旧所沢浄化センター跡地の有効活用という課題に加え、人口減少が叫ばれている状況で、生産年齢人口を確保するには、産業の活性化が不可欠という課題を抱えていました。

そこで、当跡地を、産業系を中心とした土地利用を図る者へ、既存施設の解体を含めて売却することとしました。

売却の募集要項には、「産業振興に関する貢献策」をはじめとした、地域への貢献に関する項目を盛り込みました。

KADOKAWA の背景

インターネットの普及などによる紙媒体の需要が落ちている状況で、外部の環境変化にすばやく対応するための新たなビジネスモデルの確立や、生産・物流体制の刷新・効率化が必要不可欠な課題となっていました。

そして、所沢市や三芳町に点在する印刷・製版工場、物流倉庫を集約化できる広い土地を探していました。

公募型プロポーザル方式により KADOKAWA が旧所沢浄化センター跡地の売却先に決定。平成 26 年 10 月に所有権が KADOKAWA へ移転。平成 27 年 4 月に KADOKAWA から、公共貢献機能を活用したまちづくりに関する共同プロジェクトの提案を受け、「COOL JAPAN FOREST 構想」がスタート。

「COOL JAPAN FOREST 構想の推進に関する協定」を締結

平成 28 年 6 月 10 日には、所沢市と KADOKAWA が相互に緊密な連携と協力を行い、市全体が「みどり・文化・産業が調和したまち」として発展していくことを目指して「COOL JAPAN FOREST 構想の推進に関する協定」を締結しました。



構想ロゴマーク

富士山を
遠くに望む

豊かなみどり
東所沢公園や
東川の桜並木



みんなが
集まって楽しむ

たなびく雲や
市松模様の
「和」

構想ロゴのコンセプト

晴れた日には富士山を望み、春には東川沿いに咲く満開の桜を愛で、東所沢公園をはじめとした豊かなみどり（FOREST）に囲まれた空間。みどり・文化・産業が寄り添い、みんなが集い、楽しみ、にぎわう。そして「ほっ」とひと息、憩いの場（FOR REST）でありたい。

Map And Zoning Image



COOL JAPAN FOREST 構想に関する情報は所沢市ホームページでも、ご覧いただけます。「所沢市」「クールジャパンフォレスト」で検索を。



発行：所沢市

編集：経営企画部 経営企画課

〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1

TEL 04 (2998) 9027

FAX 04 (2994) 0706

E-mail a9027@city.tokorozawa.lg.jp

2019年3月発行